

課題対応取組報告書

名称	加賀屋・粉浜地域包括支援センター				
提出日	令和	7	年	6	月 17 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☐ 地域や専門職とのつながり等	☐ 社会資源の創設（居場所づくり等）
	☐ 認知症高齢者等の支援	☒ 自立支援・介護予防・健康づくり等
	☐ その他（ ）	
活動テーマ	気軽に相談できる場や孤立化しない繋がりづくり	
地域ケア会議から 見えてきた課題	・ひとり暮らし高齢者の孤立。家族や地域との関係が希薄であり、課題が重篤後に発見される。	
対象	ひとり暮らし高齢者	
地域特性	昔ながらの長屋が並ぶ地域や高層マンション、集合住宅群が点在する地域であり、古くからの街並みが存在し、商店街やスーパーもあり、人が集まる場所も多い。しかしながら、ひとり暮らしの高齢者が多く、家族も遠方であったり、居なかったりする方が多い状況がある。	
活動目標	・サロン活動は、定例的に開催し、集いの「場」として地域の高齢者の参加を得る。、サロン活動から百歳体操に派生させる。 ・なんでも相談会では、地域包括支援センター（以下「包括」という）、総合相談窓口(ランチ)(以下「ランチ」という)の周知とともに住之江区栄養士会の協力を得て、食事や栄養に関する情報発信する。包括、ランチの周知が十分でないこともあり、地域の協力を得ながら、更なる周知活動を行う。	
活動内容 (具体的取組)	サロン活動を定例的に開催 ＜粉浜地域＞ 粉浜げんき広場（百歳体操）：毎週水曜日PM ＜加賀屋東地域＞ おしゃべり広場中加賀屋：毎月第三火曜日PM、いきいき百歳体操：加賀屋福祉センター：毎週火曜日AM ＜加賀屋地域＞ わいわい広場北加賀屋5丁目：毎月第一月曜日PM、わいわい広場緑木：第四月曜日PM、かもめちゃんカフェ：毎月第2金曜日AM、ダイエー福祉なんでも相談（出前相談）：毎月第一水曜日PM 集いの「場」として、地域の高齢者への参加を通じ参加者同士の繋がりや橋渡しの役割を行う中で、顔の見える関係性を作る。サロン活動から包括、ランチ等パンフレットの配布、周知、健康管理に注意し、住之江区栄養士協議会との連携にて栄養レシピの配布、フレイル予防、百歳体操、介護サービス利用も含め、相談支援を実施した。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	サロン活動を定例的に開催し、集いの「場」として、地域の高齢者の参加を通じ参加者同士の繋がりができ、互いに気遣うことができている。サロン活動から百歳体操や介護保険サービスを利用するなど進展もみられた。	
今後の課題	サロン活動に参加されず、閉じこもっておられる方がまだまだおられると思われるため、より地域への周知活動を地縁団体や専門機関と協働して行っていきたい。	

※以下は、区運営協議会事務局にて記入	
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和7年7月24日（木）
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☒ 継続性 ☐ 浸透性・拡張性 ☒ 専門性 ☒ 独自性
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	・地道にこつこつと活動できている。 ・栄養士と取り組んで独自の活動ができている。独自性があるのではないか。